

セルビアへ行こう！

セルビア共和国
(ベオグラード)

距離 9,226 km
現在、日本とセルビアを結ぶ直行便はなく、乗り換える必要がある。
フライト時間の目安は約 16 時間。

日本
(東京)



未知なる国セルビアの首都ベオグラード市を観光しよう！



ベオグラード市について

ベオグラードは、ヨーロッパとアジアを結ぶ交通の要として発展した街で、アテネ・ローマと並ぶ最古の都市です。長い歴史の間、戦争により何度も崩壊と再生を繰り返してきたこの街は、西と東の文化が混ざり合っています。

現在、ベオグラードでは人口約20万人が住み、賑やかな街となっています。ベオグラードには歴史的で文化的なスポットも多くありますが、パーティーやビールが好きな人も楽しめる繁華街（パブ）もありナイト・ライフとして有名で誰もがエンジョイできる街です。

ベオグラードは、他のヨーロッパの首都と比べて大きな街ではありませんが、魅力あふれる観光スポットが多く悠々の歴史を持ちおすすめです。

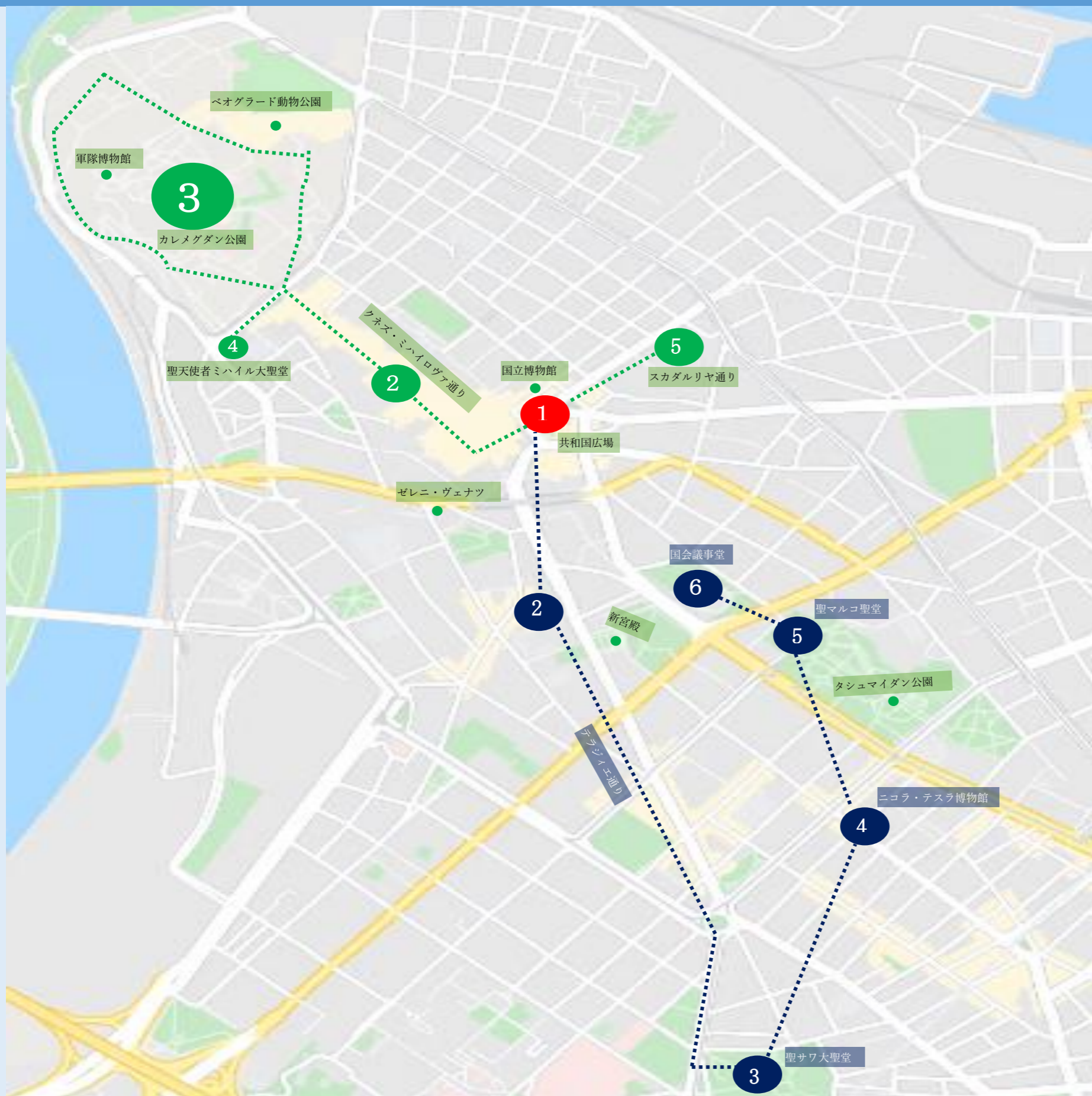
ニコラ・テスラ空港から首都ベオグラードまでは、約1時間。空港前の停留所72番号のバスに乗って、終点ゼレニ・ヴェナツ（Zeleni Venac）で降ります。

バスのチケットは運転手、又は道によく見られるキオスクで買えます。

*注意

バスのチケットを持っていない場合は、罰金2,000円を支払います。

そのため、事前に必ずチケットをお買い求めください。



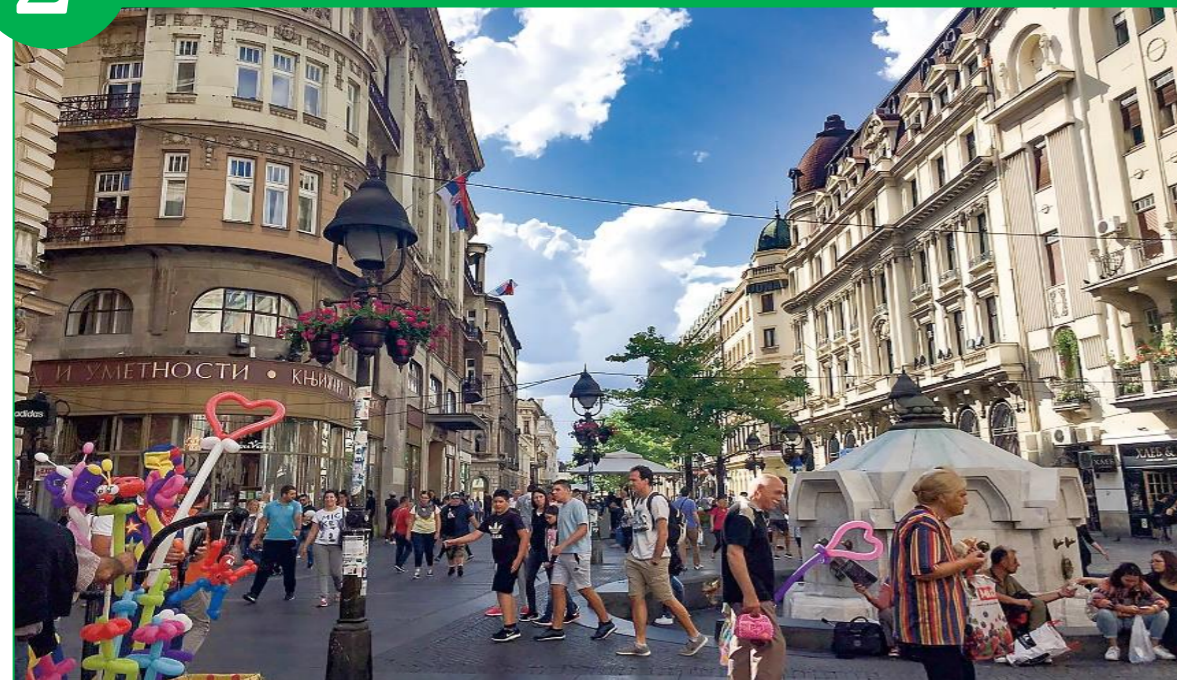
1日目ルート

1 共和国広場



共和国広場にあるクネズ・ミハイロ像、いわゆる馬像が有名。彼はセルビアで解放者として知られ、この場所は有名な待ち合わせ場所であり、馬像の後ろは国立博物館である。

2 クネズ・ミハイロヴァ通り



クネズ・ミハイロヴァ通りは、ベオグラードの最もにぎやかな通りでカフェや喫茶店やレストランが多く並んでいる。ベオグラードの雰囲気を味わうにはこの通りは定番である。

3 カレメグダン公園



ベオグラードの歴史を物語る博物館があり、たくさんのイベントも開催されていて、観光客や地元の人々の憩い場所となっている。また、丘の上に立っている要塞はベオグラードの街を一望できる絶景ポイントである。

徒歩約20分!

4 聖天使首ミハイル大聖堂



天使首ミハイルを記憶する正教会の大聖堂。カレメグダン公園の近くにあるため、立ち寄りスポットとしておすすめである。

5 スカダルリヤ通り



セルビアの昔の雰囲気を感ずたい旅人におすすめである。通りにあるカフェやレストランは20世紀前半に舞台俳優や詩人、画家、作家などのアーティストが集うことで有名であった。

2日目ルート

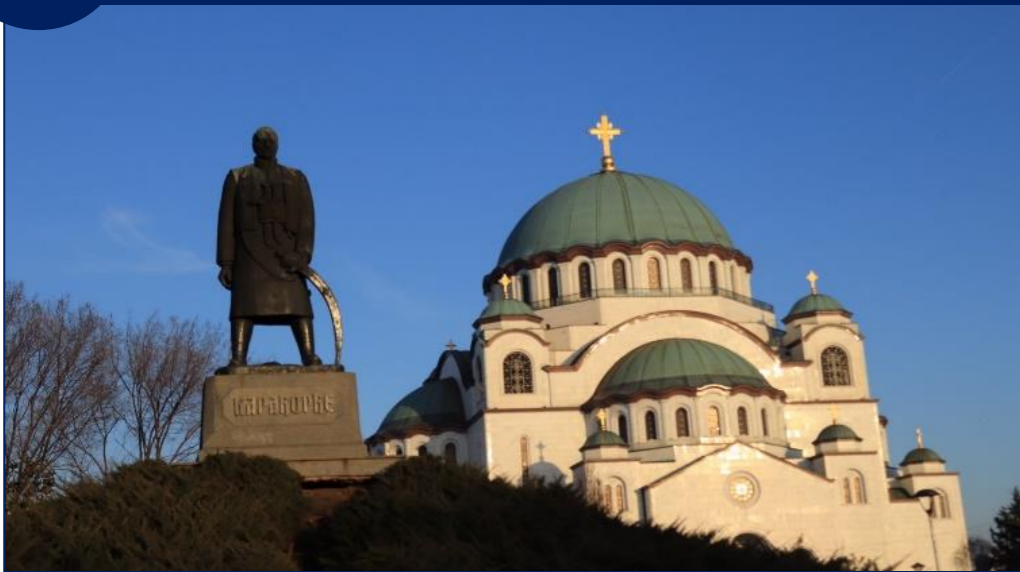
1 共和国広場

2 テラジエ通り



テラジエは、公式にベオグラードの中心として設計された場所。テラジエそのものは短い通りであり、ベオグラードの目抜き通りであるミラン王通りへとつながり、その先はスラヴィヤへと至っている。

3 聖サワ大聖堂



世界でも最大級であり、たくさんの修道院や教会の中で有名な教会である。この場所からはベオグラードの景色が一望できる。

4 ニコラ・テスラ博物館



©ja-jp.facebook.com

エジソンのライバルと呼ばれたセルビア人天才発明家で、現在世界中で広く使われている無線で電力を送電するシステム開発の生みの親である。

共和国広場から聖サワ大聖堂まで徒歩約30分！

5 聖マルコ聖堂



1931~1940年に建てられた。セルボ・ビザンティン建築でデザインされたこの聖堂はベオグラードの観光スポットとして人気である。

6 国会議事堂



見るからに西洋の建築であり、写真を撮るのであれば、日中も良いが電飾の輝く夜景がおすすめである。

ベオグラードは、セルビアの国雰囲気を感じながら散歩するのがベスト。しかし、交通手段を使いたい旅人には以下の方法がある。

- バス
- 路面電車と路面バス
- タクシー

バス

ベオグラードで最も使われている交通手段は、バスであり移動が便利である。大事なことは、チケットを持つことで購入方法は2つある。

チケットを直接バスの中だけで購入する場合は、そのバスだけが有効で割高となる。チケットの値段は、行先によって変わるが、最短距離で一番安いのは150ディナール。(日本円で150円程度)キオスクで買う場合は、90分間有効となり乗り放題である。

このチケットを使う場合、バスの中の機械でタッチが必要となる。

詳しい情報は以下のリンクを参考に。

<https://www2.busplus.rs/lt/vrste-karata>

路面電車と路面バス

他によく使う交通手段は、路面電車と路面バスがある。支払方法はバスと同じ。

タクシー

ベオグラードの移動手段としてタクシーも便利な方法である。ただし、公共交通手段より高くなる。ベオグラードには、タクシー会社がいくつもあり各会社によって値段も変わる。タクシーの会社には、Pink Taxi(ピンク・タクシー)、Naxis Taxi(ナクシッシュ・タクシー)、Radio Beo Taxi(ラディオ・ベオ・タクシー)、Zuti Taxi(ジューティ・タクシー)がある。



バス



路面電車



路面バス



タクシー

交通ルート

ニコラ・テスラ空港→ベオグラード中央
バス 72号

停留所:空港の手前

降り場:終点ゼレニ・ヴェナツ駅

ゼレニ・ヴェナツ→ゼムン

バス 15号、84号、706号

停留所:ゼレニ・ヴェナツ駅

降り場:ゼムンスカ・ポシュタ駅

ベオグラード中央→スラヴィヤ広場

路面バス 29号

停留所:共和国広場駅

降り場:テウルグ・スラヴィイェ駅

ベオグラード中央→ウシュチェショッピングモール

バス 95号、16号、77号、65号

停留所:ゼレニ・ヴェナツ駅

降り場:ブレヴァル・ミハイラ・プピナ駅

ベオグラードの交通ルートについて詳しい情報は以下のリンクでアクセスができる。

<https://www.busevi.com/>

未知なる国セルビアの歴史に豊かな場所

ゼムン市を散歩しよう！



ゼムン市について

ゼムンは、セルビアの歴史的な街であり、また現在はベオグラードを構成する17の区の1つとなっています。歴史上では別の街として発展してきたが、20世紀後半にノヴィ・ベオグラードの開発によって両者は結ばれて1つの都市となりました。また、ドナウ川右岸に位置する3つの丘、ガルドシュ（Gardos）、チュコヴァツ（Cukovac）、カルヴァリヤ（Kalvarija）、の上に築かれ、発展してきた。古代この地にあったケルト人やローマ人の居住地は「タウルヌム（Turunum）」と呼ばれていました。9世紀以降スラブ語による名称「ゼムン」が初めて文献に登場しました。「ゼムン」の名は、スラヴ語で大地を意味するゼムリヤ（Zemlja）に由来すると考えられています。

現在ゼムン市の人口は約2万人が住み、ベオグラード市と同じように賑やかな街で、特にドナウ川散歩が人気です。ゼムン市を歩くと昔のハンガリーからの影響が見られます。



ゼムン ルート

1 ゼムン遊歩



ゼムンを遊歩するには 2.5 km あり、ドナウ川の右岸に位置する。ゼムン市の歴史を感じながら歩いたり、サウプラヴ(川にあるレストラン、又は喫茶店) で楽しんだりすることができる。

2 ゴスポデウスカ通り



ゴスポデウスカ通りは、ゼムン遊歩の手前にあり、ここには市場をはじめ、パン屋、カフェなどのお店が並んでいる。

ゼムン遊歩からマドレニアヌム歌劇場まで徒歩約 60 分

3 マドレニアヌム歌劇場



©en.wikipedia.org

マドレニアヌム歌劇場はゼムン市の古い部分にあり、セルビアの初プライベート歌劇場である。

4 聖ニコラス教会

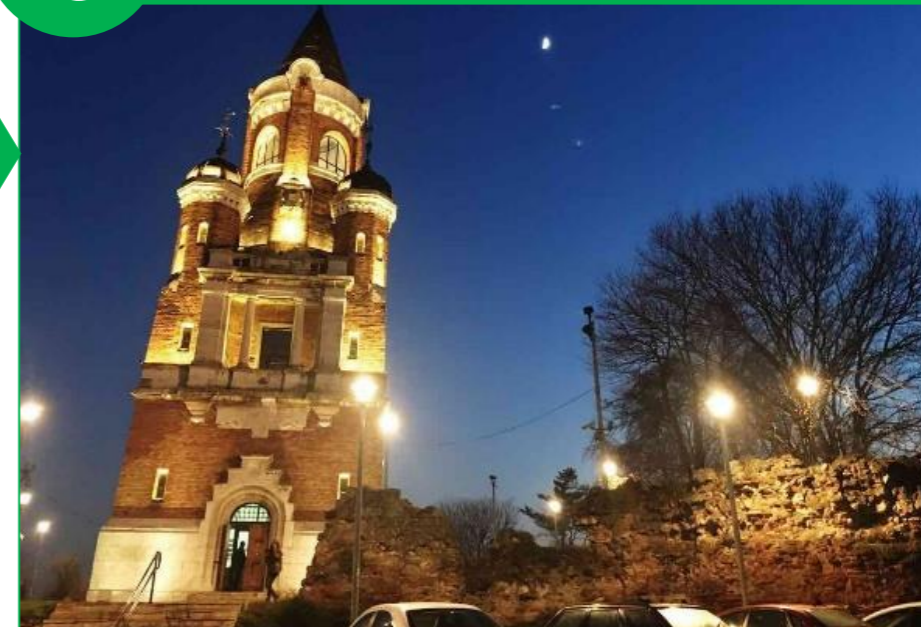


©tripadvisor.rs

聖ニコラス教会は、ゼムンで最も古い教会であり、1948年に文化遺産保護制度と文化遺産になった。

ガルドシュ塔は小さい山にあるため、ゼムンの景色が見える。夕焼けがおすすめ！

5 ガルドシュ塔



ガルドシュ塔、いわゆるミレニアム塔は 1896 年に建てられた慰霊塔である。